

# 九州ルーテル学院大学

## Teaching Portfolio

### 2020



所 属： 人文学部

名 前： 崔 大凡

作成日：2020年10月16日

## 九州ルーテル学院大学 ティーチング・ポートフォリオ

教員氏名：崔 大凡

所属：人文学部

### 1. はじめに

キリスト教の精神と理念によって運営され、教育が行われるキリスト教学校においてチャプレン（学校付き牧師）としての役割を担っています。2009～2019年度まで九州ルーテル学院大学の併設校であるルーテル学院中学・高校に務め、2020年度より大学・幼稚園のチャプレンとして働いています。

### 2. 教育の責任

キリスト教学校におけるチャプレンとして、学校の礼拝、キリスト教行事・活動を通して、キリスト教の教えを学生・教職員に身近に伝え、共有する役割と責任があります。

#### 2.1. 授業科目の担当

2018年～2020年度の3年間は以下の表の科目を担当している。

科目名	開講年度時期	履修者数	備考
キリスト教II	2020年度	160人	共通教育
聖書	※2019年度まで中学・高校で「聖書」の授業担当		

#### ■ 主要担当科目

キリスト教入門、聖書

学部での教育以外の教育実践は以下のようなものがある。

#### ■ 非常勤講師

※同じ法人に属するルーテル学院幼稚園、黒髪乳児保育園のチャプレンです。

※日本福音ルーテル室園教会、甘木教会の主任牧師を兼任しています。

## 2.2. 教育組織運営

チャプレン、宗教委員会

## 3. 教育の理念

### 3.1. 理念1 「授業も一つの出会い」

知識と情報の伝達だけでなく、むしろそれを通して「生きている」人との出会い、「生きている」言葉と精神との出会いを目指します。

### 3.2. 理念2 「内容のあるものを」

社会の中では宗教と分類される教育内容だからこそ、実社会・生活とかけ離れているように認識されやすい分野ではあるが、意外と人が生きるあらゆる分野と文化に繋がっていることを実感させ、聞き応え、読み応えのある内容の提供を目指します。

### 3.3. 理念3 「できれば分かりやすく、面白く」

すべての分野がそうであるように、聖書も聖書らしい面白みがあることを理解してもらい、知って気付く楽しさを目指します。

## 4. 教育の方法

教育理念との関係では以下の点を重視した教育方法を取っている。

### 4.1. 「物語」を知る。

テキストとなる『聖書』自体が物語化された記録であり、世界で一番長く、たくさん知られている物語です。最初から難しく、深く読むより、物語が知られ、その人の中に入ることによって深められ、内在化されます。従って何よりもまず、それぞれの物語から「聴く」ことが始まりです。

### 4.2. 立体的に読む

世界でたくさん読まれ続けられた物語だからこそ、参考にできる芸術作品、書籍、映画・映像がたくさん存在します。それらを参考にしながら、さらに本文を豊かに読むように促します。

### 4.3 自分の感想を大事に

どんなに素晴らしいものでも、それを読んで受け入れる主体が「自分」であることに変わりはありません。与えられたテキストに対して、読み手と聞き手となる自分の考えと感想が生まれることを大事にします。

## 5. 教育改善のための努力

### 5.1. 改善努力1 授業評価アンケートと授業改善報告書

(2018～2019年度の授業評価アンケートがありません。)

## 5.2. 改善努力2

( 同上 )

## 6. 教育の成果・評価

日本においてキリスト教と聖書的文化はかなり少数であることに対して、若い世代の人々が聖書の言葉と思想に触れることが出来る学びです。同時に、現代の宗教に対するイメージは必ずしも肯定的ではないかも知れないところ、宗教的精神・観念について考えさせるきっかけを与え、受け止める人にもよりますが、世界と命、信仰について新たな視点が与えられる可能性もあります。

## 7. 今後の教育に関する課題と目標

学生たちに学びの意義がさらに認められるように工夫すること。

学習に対するモチベーションと共感度を上げること。

一方的に伝える形から、様々な方法を模索すること。

## 8. 参考資料

(1) 担当科目シラバス

(2) 授業評価アンケート結果

※ティーチング・ポートフォリオを点検し集約される方へ

・・・書き方に関して曖昧だったり、前年度の資料がなかったりする項目に関して修正が必要なら遠慮なく教えてください。